

OPENTALK TAKETOYO

話せば、まちはもっとおもしろい。

Vol.1

武豊町が「選ばれるまち」
になるためには

日時 8年7月9日（木）

19:00～21:00

場所 武豊町地域交流センター

問合せ 役場 DX推進課

Vol.1のOPEN TALK TAKETOYOは

このミーティングは、「話せば、まちはもっとおもしろい。」をコンセプトに、町の未来や暮らしについて話し合う対話の場です。参加者は、町長を含め、16人でした。まず、これまでのアンケート結果等から武豊町の現状を整理しました。そして、今回は町外の方をターゲットに、「たけとよのファン（関係人口）」を増やし、武豊町が選ばれる理由を1つでも多くするための方法を2つのワークを交えて話し合いました。



ワーク01 あなたが思う「武豊町の魅力」を付箋に書き出してみよう

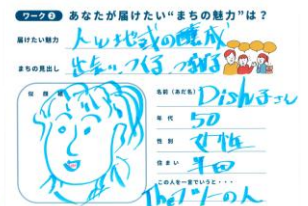
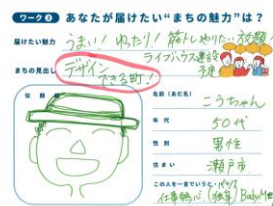
まずは、3つのグループに分かれて武豊町の好きなところや自慢できるところなど、とにかくたくさん書き出してもらいました。その後、自分たちのグループでしか出ていないと思う魅力を3つずつ発表してもらいました。話し合いながら、共感したり、驚いたり、長年住んでいるからこそ分かる魅力もあれば、同じ町に住んでいても、見える魅力はさまざまです。人それぞれの視点が集まることで見えてくる新しい武豊町の魅力が見えてきました。



グループワークの一部を紹介 私たちが選ぶ、武豊町の魅力

交通の 便がいい	ドンキ もある	美味しい ラーメン がある
図書館が 水上で オシャレ	お店に 駐車場 がある	モルックが 全小中学校 にある
工場夜景	地価が 安い	海が 見える

ワーク02 あなたが思い浮かべた人に届けたい まちの魅力とまちの見出しを考えよう



町外に住む友人や親戚、仕事をきっかけに武豊町へ来る若者、子育て中の家族、伝統文化に関心のある人など、届けたい相手に向けて、相手の暮らしや興味を想像することで、武豊町が持つ魅力や、これから必要な取組みが見えてきました。



選ばれる町になるためのキーワード

町民の夢や活動が 形になる

自分の得意なことや好きなことを生かして活動し、誰かから「ありがとう」と言ってもらおう。その喜びが次の活動につながり、町の中に新しい取組が生まれていく。そんな循環をつくることのできる町。

働きやすく、 子育てしやすい

生活に必要な施設が揃い、住み続けやすいことも魅力。一方で、保育サービス等、企業と行政が連携し、働く人や子育て世帯を支える仕組みをつくるなど、働き方に合わせた子育て支援も必要。

江戸時代から受け継がれてきた地域の伝統文化

祭りに関わる人が減り、文化を継承していく上での課題も多い。山車やお囃子を披露する場を増やしたり、きっかけをつくることで、町内外の人に伝統文化の魅力を知ってもらい、担い手を増やしたい。

程よい距離感で、 穏やかに暮らせる

仕事と休日、まちの便利さと自然の豊かさを、程よく切り替えられるまち。土地や住宅を検討する若い世代からも、「実際に住んでみると、それほど不便を感じない」といった声を聞く。